

議案第70号
廃棄物の処理及び再生利用に関する条例の一部改正
 【公明党】【日本共産党】

【問】事業系一般廃棄物の額を10kg当たり、170円から220円に改定することとなった背景は？

【答】処分手数料は、平成14年度から据え置かれており、ごみの処理コストとの乖離が大きくなっている。また、近隣市町と比較し、手数料が低く設定されている。応分の対価の負担と近隣市町との均衡を考慮し、220円とした。

【問】適正に処理している事業者と、そうでない事業者との不公平感がさらに広がることに對して市はどのように考えているのか？

【答】事業者向けの啓発パンフレット等を作成するとともに、地域との連携等を図りながら、事業者間の不公平感が生じないよう、適正な事業系一般廃棄物の処理について、取り組んでいく。

議案第71号
犬竹大学奨学金基金条例
 【やまぶき会】【公明党】【政晴会】
 【市民フォーラム】【日本共産党】

免について配慮する。

【問】名称決定の理由は？

【答】基金の設置および基金を財源とする奨学金支給事業の内容や、寄附者の意向等を勘案し、庁内において慎重に検討し、名称が決定したものである。

【問】附則で平成40年3月31日限り効力を失うとする理由は？

【答】基金が原資となる奨学金支給制度であり、寄附者の意向も、一般財源を財源としてまでの制度の存続を希望されなかったため、また、国において検討している大学等の高等教育無償化導入の可能性もあることから、条例に明示したものである。

【問】今後の市の対応は？

【答】今後、国の動向を注視しながら、本市における事業存続の必要性について調査・研究していく。

【問】この基金を原資として実施する給付型奨学金支給制度は、他の制度との併用を可能とするのか？

【答】本制度については、授業料等の全額を賄うものではないため、同種の給付型奨学金や貸与型奨学金など、他制度との併用が可能となるような制度設計を考えている。

【問】県内市および中核市の中で、寄附を契機に大学生を対象とした給付型奨学金制度を開始し、一般財源を計上して事業を継続している自治体は？

【答】実施している県内市はない。中核市では、函館市、豊田市、姫路市、名古屋市、倉敷市の5市が実施している。このうち、一般財源を計上し事業を継続しているのは、豊田市と倉敷市の2市である。

【問】犬竹大学在学中の学生も対象とすべきと考えるが、本制度は在学中の学生による申請は可能か伺う。

【答】市内在住の高校3年生を対象と考えているため、既に大学に在学している学生は対象には含まない。

【問】奨学金の受給期間中に川越市以外に住所を異動することが可能か伺う。

【答】修学する大学が遠隔地であるなど自宅からの通学が困難な場合、奨学生が本市以外に住所を異動しても、父母等が市内に引き続き住所を有する場合には受給できるものと考えている。

【問】川越市内の児童養護施設等に入所しているが、川越市に住所を移していない生徒も、このようなケースで申請は可能か伺う。

【答】居住実態を確認した上で申請することが可能であると考えている。

【問】市は、これまで、給付型奨学金制度の検討をどのように進めてきたか。

【問】先進市における事例の分析や検証等を行ってきた。また、県内における先進市の視察を行い、同制度の創設における課題について整理しながら、制度創設に向けての調査検討をしてきたところである。

【問】基金の失効に際し、あらかじめ市民や企業・団体に寄附を呼びかけて、市として給付型奨学金制度を継続していく考えはあるか。

【答】現在、国において高等教育の無償化について検討がなされているところである。今後の国の動向を注視しながら、本市における事業存続の必要性や財源の確保方策について調査・研究していきたいと考えている。

【問】私立大学の学費は30年前と比べてどうか。

【答】1984年と2014年とを比較すると、私立大学の入学料は約1・16倍、授業料は約1・91倍の伸びとなっている。